

# てるびっと

No. 9

2003.3

京都府海外研修KYOのあけぼの会





海外研修KYOのあけぼの会  
会長 田中 田鶴子

春の足音とともに新しい年度がスタートいたしました。会員の皆様におかれましては、お元気にご活躍のことと存じます。当会機関紙「てるびと」も第9号を発刊する運びとなりました。発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

さて、ご承知のとおり当会は国際的視野を有した女性リーダーの育成と資質の向上を目指して、様々な研修会等を実施し、女性関係団体のネットワークから数多くのことを学び得たことを大変喜ばしく思います。特に、2003年2月の韓国視察研修旅行では、韓国女

性経済人協会メンバーとの交流会において日本女性リーダーと韓国女性リーダーの積極的な意見交換の機会を持つことが出来ました。今後も国際交流促進を目指して事業を計画して参りたいと切に感じた次第です。

また、21世紀の重要課題である男女共同参画社会の実現に向けて、京都府では「新KYOのあけぼのプランー京都府男女共同参画計画」が策定されました。これには、当会からも積極的に意見を提出し計画策定に関わらせていただきました。そして、今後はこの施策の理解を深め、男女の人権が等しく尊重され女性のエンパワーメントが図れる地域社会づくりに、女性団体リーダーとして貢献していきたいと考えております。

会員の皆様におかれましては引き続き当会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 真に豊かな地域社会の実現に向けて

京都府知事 山田 啓二



『てるびと』第9号の発刊を心からお祝い申し上げます。

海外研修KYOのあけぼの会の皆様におかれましては、関係団体相互のネットワーク作りや国際交流の促進等に尽力されるとともに日頃から地域活動のリーダーとしての資質向上に努められておられますことに対し深く敬意を表しますとともに、大きな期待を寄せているところであります。

今年度は、昨年のサッカーワールドカップの共催を契機に我が国との友好がますます深まった韓国への研修事業を実施され、最新の韓国の状況について韓国女性経済人協会と懇談され、韓国経済がいち早く不況から立ち直り、確かな発展をとげたのも、女性の活躍によるところが大きいといったことを学ばれるなど、大変多くの成果を収められたと伺っております。今後、この成果をもとに、会員の皆様がそれぞれの地域に根ざした取組を通じて、真に豊かで国際化に対応した地域づくりをさらに進めていかれますことを期待しております。

京都府におきましては、雇用・不況対策等喫緊の課題に対応するため、「京都府雇用創出・就業支援計画」をはじめとする10のアクションプランを策定し、その着実な推進に努めるとともに、積極的な未来づくりを進めるため、未来を担う「人づくり」、産業や雇用の「活力づくり」そして「安心・安全づくり」を基本に置き、「やるべきことはやり、守るべきものは守る」という考えに立って諸施策に取り組んでまいりたいと存じております。

また、21世紀の我が国社会を決定する最重要課題の1つである男女共同参画社会の実現を目指して、府民全体の取組の拠りどころとなる条例を、皆様方、府民の幅広い御意見を賜りながら制定してまいりたいと考えておりますので、皆様の御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、海外研修KYOのあけぼの会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御活躍、御健勝を心から祈念いたします。

## 2002年度 総会及び研修会

■ 日時：平成14年4月26日(金)午後1:30分～ ■ 会場：京都府国際センター研修室

### 総会

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 議長選出
5. 議事
  - ①2001年度 事業報告
  - ②2001年度 収支決算報告
  - ③2001年度 会計監査報告
  - ④2002年度 事業計画(案)審議
  - ⑤2002年度 収支予算(案)審議
  - ⑥その他

### 6. 閉会

### 研修報告

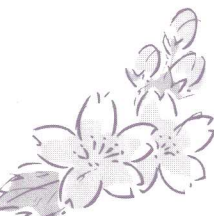
オーストラリア研修に参加して  
「羊もボランティアしますか？」  
海外研修KYOのあけぼの会 会員 武田 公子さん



## 京都府に初の女性副知事誕生!

平成14年10月15日に佐村知子副知事が就任されました。全国で女性副知事は、福岡・愛媛・高知・北海道・岡山・京都の各府県に6人(平成15年3月現在)おられますが、まだまだ少ない状況です。

佐村副知事は、昭和55年に旧郵政省に女性キャリア第1号として入省され、総務省保険経営計画課長、官房参事官等を歴任。豊富なIT(情報技術)関連の知識や、お子さん1人をもたれ仕事と家庭を両立してこられた経験を生かしての今後の御活躍が期待されます。



表題「てるびと」は、前京都府知事荒巻禎様の直筆で、インドネシア語(京都府友好国)あけぼのの「の意味です。  
京都府に息づく豊かな自然の美しさ、「花」しだれ桜、さか菊。「木」北山杉。「鳥」オオミズナギドリ。を戸塚フランス刺しゅうで表現したものを表紙絵としました。



# 第14回 KYOのあけぼのフェスティバル2002

## 「私が輝く あなたが輝く 京都が輝く」

平成14年10月12日(土)・13日(日)



- オープニングは、京都府立加悦谷高等学校合唱部のコーラスで、若やいだ力強い幕開けになりました。
- 続いて行われた、山田啓二京都府知事と、太田房江大阪府知事の対談は、立ち見が出た程の盛況で、和やかな中にも、聞き応えのある内容でした。
- その他、男女共同参画社会づくりのための、条例制定に向けてのフォーラム「わたしたちがつくる私たちの条例」や、第3回世界水フォーラム協賛、井手慎司先生の講演「水は、いのち」と、グループによる実践発表など、時を得た内容で、充実した2日間でした。
- 本年度、「海外研修KYOのあけぼの会」は昨年に引き続き、ワークショップで「IT体験パートⅡ」として、パソコンを使い名刺作りにチャレンジし、参加者全員が、それぞれ、個性豊かな名刺を作り、嬉しいおみやげが出来ました。

## 私にも、こんな名刺が作れました



### 参加者の感想

#### ■ IT体験 パートⅡに参加して 福島 イツコ

10月13日第14回あけぼのフェスティバルのワークショップは、参加したい内容のものばかりでした。その中でも、仕事の関係上、ワープロを使っていたが、もっと便利に活用できるパソコンにおもしろさと、使うほど驚きの発見がありますので、今回オリジナル名刺作りに参加しました。自分の知らなかった操作を教えてください、その場で印刷し、フロッピーまで持って帰れるよう準備して頂きました。京都商工会議所女性会、海外研修KYOのあけぼの会の会員様には細やかな心配りと、指導して頂いた先生には時間がない中、額に汗をかきながら一生懸命指導して頂きました事、感謝申し上げます。

帰宅しまして早速知人や友人にも差し上げとても喜んでもらいました。又、この様な企画があれば是非参加したいと思えます。

本当に有難うございました。

#### ■ あーGではなくてJだった! 田野 照子

今年も盛りだくさんのワークショップが催され、あれもこれも参加したくなる“テーマ”。その中から知人の強い呼び込みを受け、すいてまれるように「IT体験パートⅡ」「あなたらしいオリジナルの名刺を作りませんか」に、あーいいわねーと思ひ申し込んだ。

マウスの使い方からはじまり、文字を入力しましょう!

講師の先生の声にキーボードをたたく。あーGではなくてJだった! と訂正し、次にイラストだ。一杯ありすぎてやっぱり押し花かなあと安易に選ぶ。あー大きすぎる…。何度手を挙げて助けを求めたことか。ゴシック調の字体でなんとデッカイ字!! センスはもう1つだったか…やはりパソコンは操作に慣れることから始まると思う。とっても楽しい夢中になった1時間だった。



# 国際交流実感

## 日中友好正常化30周年記念に参加して(平成14年9月20日~23日)

一瀬 裕子

日本国から1万3千人余り、京都から740人余り、そして私達各女性団体グループでの55名その一員としてこの事業に参加いたしました。両国人民の相互理解の増進と未来に目を向けての日中善隣友好関係の前進と発展の意義から国を挙げての文化観光交流事業でありました。

- 1日目(西安) 兵馬俑抗博物館 京都友好訪中団交流パーティー
- 2日目(北京) 中華全国婦女連合会との交流会 於人民大会堂(中国国家旅游局主催のレセプション)後(中華世紀壇にて一万人の交流会)
- 3日目(北京) 記念植樹祭 (八達嶺長城付近5000人) 万里の長城見学 京都友好訪中団夕食会
- 4日目(北京) 故宮(紫禁城)見学



とりわけ私たち女性団体交流での中華全国女性団体代表のごあいさつの中で中国の女性の地位向上、男女平等を柱として、都市、特に農村女性を中心に識字、職業訓練、女性の権利、社会進出等のとりくみの問題を通し、世界の女性との交流を図ることに資するとの報告がありました。

中国大地のスケール(建物、道、人、車)の大きさそれに伴う人民大会堂へ1万3000人がすっぽり(江沢民国家主席)のもと大交流式典は度肝を抜かれると云っても過言でない会場でのレセプションやセレモニーは見事でした。

全行程は早朝より夜間迄ハードスケジュールでありましたがザクロ、モモ、ブドウは露店で買い安く美味しく、車窓より貪欲に見る急ピッチでの高度成長発展する都市、老若男女とわず活気ある生活感等、垣間見る楽しい旅でした。

友好の盃交す月夜かな 秋深し乾杯続く茅台酒 秋高し友好訪中植樹祭 万里ふ長城西に後の月

## オーストラリア旅行記

武田 公子



恒例の海外旅行に、平成14年2月真夏のオーストラリアへ出かけるチャンスがありました。

パース・エアーズロック・シドニーと9日間の旅はボランティア問題、環境問題についての研修目的で一気に西から東へと横断しました。日本の22倍もの広さに1900万の人口ですから自然にゆったりとんびりとなれるでしょう。鳥もゆっくり飛んでいる印象を受けました。

### ■「ボランティア問題」

オーストラリアはその先進国として名を馳せている通り組織作りがしっかりしている事がすぐわかりました。一般市民は勿論の事、企業からもボランティアが派遣されており、それが特別のものではなく、国造りは自分達で創りあげていくという発想のもと、シドニーオリンピックで見られた様に、国民あげて協力体制をとり、参加する事により自己完成、自己存在感を確かめ又その為の教育が充分になされている事などを見聞いたしました。

### ■「環境問題」

エアーズロックリゾートホテルは水とエネルギー、自然環境を重視した建物で周囲の景観が見事に調和していました。太陽エネルギーを最大限に利用する為に、ソーラーパネルを設置し、太陽熱の直射を防ぐ構造がガラス面にも屋根にも施されていました。水資源については雨水を利用し飲料水は地下水を濾過して利用されていました。ゴミはリゾート内の土中に埋められ、ゴミ減量、リサイクルにも努めている様子がわかりました。

最後に今回の旅行中一番感銘を受けたエアーズロックを訪れた様子を記します。

### ■「エアーズロックを訪ねて共生社会を学んだ旅」

早朝五時の起床で眠気まなこの私でしたが次第に白み行く砂漠のむこう、黒い物体が出現「これぞエアーズロック!」先を急いでバスを降りロープの前に陣取り、日の出と共に多彩に変化して行くロックの神秘的な容貌に、瞬きもせず見つめ入りました。

「ロックは六億年前には、水面下に没していたが、陸地の中央部がせり上がって来て、大きな山脈を作り出した。この山脈に雨水の力が加わり、重い岩を動かし、軽い砂を流したあと浸食された岩石群が寄り集まり、何百万年という長い年月に浸食作用を経て、現在の様な地表に固い一枚岩を残す姿になった。現在のロックは先端のみであって、地下には何倍もの岩が横たわっている。雨が降ると岩穴から湧き出て水が落ち、冬眠の穴蛙に水を施したあと、砂地へと吸い込まれていく。他にも爬虫類や哺乳動物が沢山生存していて、母なる大地の恵みは、途方もなく大きい。」これらのガイドの話聞き、自然の驚異に目を見はりながら、谷間を歩き続けました。

先住民アボリジニの人々が、自然の営みに対して敬虔な気持ち、畏敬の念を忘れず、自然との共生をしっかりと守り続けている姿に接して、今文明社会の進み過ぎた暮らしの中にいる我々は、素朴に生きる彼等の生き方に、大いに学ばねばならないと思いました。



ボランティア Thank youカード



# 2002年度 海外研修KYOのあけぼの会研修事業

2002年11月6日(水) 於:高台寺・圓徳院

## 安土桃山時代の女性の生き方

### 海外に目を向ける秀吉を支えたねねの生き方に学ぶ

23名の会員の参加のもと東山山麓にある高台寺と圓徳院を訪ねて、一際、あでやかな今年の紅葉に迎えられ、400年をさかのぼる都の文化に触れる至福のひとときを体験しました。

ご住職 後藤典生師からは秀吉を支えつづけた女性の生き方 特にねねの行き届いた気配りや献身的な生涯から現代女性への教訓をも含めて興味深いご法話を拝聴する事が出来ました。

### ■ 高台寺住職 後藤典生師法話

高台寺は、秀吉と北の政所のねねを祀っている寺ですが、そもそもは、ねねが秀吉の菩提を弔うべく建立したお寺なのです。

水飲み百姓のせがれから身を起し、ついに天下をとった秀吉の若き頃、ねねは門構えの許された土分の家の娘でありましたが、秀吉の求婚に、両親の反対にも拘らず、応じたのです。秀吉の人間性に、強く惹かれたわけでしょう。秀吉の人心掌握については、御所の連中、諸大名にも及んだ類稀な非凡さは遍く知られるところです。さほど美男子でもない、将来性も定かでない身分にして、ねねの心をすっかり掴んだ秀吉だったのです。余談ですがNHK大河ドラマ「利家とまつ」では、利家・まつ二人は相思相愛の筋書きになっていますが、利家はねねに心奪われ、日参していた事実があります。

数年前、秀吉の手紙が発見されました。NHKの調べによりますと、小田原合戦の陣中からねね宛にしたためたもので、「ねね、わしが出かける時、お前の顔色が悪かった。一番気になるのは、戦いのことではなくてお前の体のこと。一日も早く元気になってくれ、身体だけは注意してくれ、おれも一日も早く帰るから。」とありました。この、ねねを思いやる優しい秀吉の心根が読む人の心を打ちます。きっと秀吉は、周囲の人達にこんな暖かい心づかいを示してきたのだとおもいます。秀吉の出世の運は、自らの気配りが引き寄せたのだと思っています。高台寺に来られた方々へお願いしているのは、この秀吉の心に触れて帰っていただきたいことです。

この寺の庭に、日本で一番古い大きな桜、しだれ桜があります。普通しだれ桜の寿命は80才といわれています。山に咲く紅しだれ、山桜は何百年も長生きします。ここのしだれ桜は百数十年もちました。4年前の12月に、芽が出なくなりました。翌年の4月に花をつけるには、栄養を入れて治療が必要だとの庭師の診断でした。私は若い桜ではないので、放ってやってほしいと申しました。そうしたら、その桜は枯れてしまいました。仏教には大切な心があります。「死ぬ時には死ぬばよい。生きるときには生きればよい。」死ぬ時になって、やるべき事が半分も出ていない、今死ねない、死にたくない、こう考えるのが人間です。人間、やりたいことを完結させて死ぬ人間なんか、誰もいないですよ。生前多くの事をやればやる程、死ぬときにはやり残しが多くなります。仏教徒になるということは、多くの積残を残し、心配事も次の世代にゆずって、死をおおらかに受け入れていく、死ぬときに死ぬばよい、これが仏教徒です。死ぬときにばたばたするのはみっともない。生きるとき



は最期の1分1秒まで生きるのだとお釈迦さまが言っておられる。昔も脳卒中が多かった。今はリハビリがありますが、お釈迦さまの時代には、寝たら寝たきりという人が多かった。みんな寝たきりになったら死にたいと言ったが、お釈迦さまは死ぬことをお許しになっていません。仏教徒は最期の1分1秒まで生きて生きて生き抜けと言っておられる。そんな人達は、人に迷惑をかけて生きられない、どうすればよいのか、共に肩を抱き合い弱者同志生きていけと、説かれています。死ぬ時には死ぬんだから、生きている時は生き抜け、これが仏教徒のつとめであります。

北の政所ねねさんは、仏門に帰依する立派な仏教徒でありました。慶長3年8月18日、今から400年ちょっと前、秀吉が大阪城で亡くなり、ねねさんはお城を秀頼に譲ったあと、秀吉の菩提を弔うべく圓徳院に移って高台寺造営にあたりました。その間、辛いこと悲しいことの続く中、顔には些かも出さず、いつも屈託のない、こだわりのない人生を喜ばれた、と側近の日記に残っています。これは、すごいことでもあります。皆さん、辛いこと、苦しいこと、悩み事を一杯持ち合わせておられると思います。みんな腹に問題を抱えて生きています。ねねさんも同じだったでしょう。ねねさんの生き方に大いに学んでいただきたいと思います。400年経た今も、ねねの道、ねねのお寺、ねねにまつわる言葉が高台寺周辺に飛びかっています。どうぞ、ねねさんの心に触れてお帰り頂くことをお願いします。

今日は折角お寺に見えました皆さんですから、もう一つお話を進めたいと思います。それは、本当の信仰についてであります。これだけ尽くしたから見返りが欲しいというのでは、どんな親切も価値はなくなります。神仏を尊ぶ気持ちにおいても同様であります。お詣りをしたから見返りを頼むのではなく、神仏を敬い、祖先を敬う礼拝だけで終わるのです。これがまことの信仰、仏教徒の信仰なのです。

※子供の教育についてのお話をいただきましたが、紙面の都合で割愛させていただきました。

### 「しのぶ愛」の心をまなぶ

森田 重美

紅葉の美しい秋日の11月6日、「海外研修KYOのあけぼの会」の研修会。

京の東山山麓に豊臣秀吉公の菩提を弔うために北の政所が開創した高台寺と北の政所(ねね)の終焉の地、京、東山の圓徳院を見学いたしました。

高台寺の石組みのみごとな庭園や、伏見から移建した、傘亭(竹が放射状に組まれ、カラカサを開けたように見える)や時雨亭、遺芳庵、又圓徳院の障壁画にみる荒れ狂う波濤から一気に天を目ざす白龍に秀吉の生きざまをうかがい知ることが出来ました。

高台寺住職の後藤典生師の法話に、安土桃山時代の女性の生き方「ねね」に近づいた気持ちになりました。秀吉の生きざま、ねねの心、おおらかな人生観の持主、又生き方、等々、400年も前の人なのに今も愛し愛される人柄は仏教の教えである「陰徳をつむ」心、ひたすら自分から愛する、「しのぶ愛」こうした日本人の心が大切であること、その心が今の私達には欠けているのではないかとこの住職の法話にうなづいて聞き入りました。

私達は今の世の中が悪いというまえに、もっと子ども達の教育や、生き方を学び、少しでも世のため、人のために役立つことに心することの大切さを学んだ1日でした。

最後にこの法話の中で佛教の教えである  
“生きるときには生き、死ぬときには死ぬ”  
の言葉は強く印象にのこりました。





「海外研修KYOのあけぼの会」は、府が実施した女性海外研修事業の修了生が女性関係団体相互のネットワーク作り及び国際交流を促進することを目的に独自の研修会等の活動を行っております。

この度、当該団体の自主的研修事業として、近隣諸国の中でも、特に官民一体となって女性政策に取り組み、女性の社会進出が急速に進展している韓国を下記のとおり訪問し研修を行って参りました。



韓国研修参加者 ホテルにて

記

1 日 時 平成15年2月22日(土)~24日(月)

2 訪問先 韓国

交流先 韓国女性経済人協会(女性企業支援を行う女性経営者団体)

[行程]

2/22(土)	関西空港	...	仁川国際空港	=	宗廟	=	ソウルタワー	=	(ソウル泊)
	9:50		11:45		15:00~18:00		22:30		
2/23(日)	戦争記念館	=	南大門・東大門市場	=	文井洞	=	(ソウル泊)		
	9:40		11:20 ~ 16:30		17:00				
2/24(月)	韓国女性経済人協会との交流	=	統一展望台	=	仁川国際空港	...	関西空港		
	10:30~13:30		15:00		18:45		20:25		

3 参加者 15名



韓国女性経済人協会 イ・ヨンスク会長のごあいさつ

### 韓国ソウル市視察研修に参加して

田中 田鶴子

この研修会は、会員の皆様方からのお声を頂き、当会の14年度自主事業として、韓国ソウル市の視察と韓国女性経済人協会メンバーとの交流を目的に実施いたしました。

アジアの中で最も近い韓国は、昨年のワールドカップ競技場でのパワフルな応援ぶりでも理解できますように、近年、韓国の方々の活力には目を見張るものがあります。また唯一政府機関に女性省が設けられている国でもあるところから、この度の研修会には女性経営者との交流もプログラムに入れることができました。

また、韓国の現在を知ることは隣人としても意味があり歴史や伝統、現代生活、女性、文化をキーワードに、直接見聞を広げることができました。私は20数年ぶり、3回目の訪韓でありましたが、先ず空港が立派になったことに驚き、人々が明るく元気で生き生きとされているという印象を受けました。そして、交流会では、女性が美しくはつらつとして、また女性経営者として自信をもって自分の考えを自分の言葉で熱意をもって話されている姿に感動しました。韓国では女性の高学歴化が進み女性の力をさらに伸ばそうということから女性省が創設されたことや、現在も約900社で女性経営者が活躍されていることなど、国の支援も積極的に行われているとのことでした。女性が起業する場合には500万円までは国が特別に融資する制度もあるとのことでした。

昼食会の席上では、和やかに双方の会話はずみ同じアジアの女性として親睦を図れたことに幸せを感じました。



宗廟・戦争記念館・南大門市場・統一展望台・王宮料理・韓国伝統舞踊など、楽しく駆け足で見学をさせていただき帰路につきました。

ご参加いただいた15名の皆様には心から感謝申しあげ、今回の視察旅行をそれぞれの事業に活かされることをご期待申しあげます。

また、訪韓につきましては、京都府女性政策課のご指導ご支援をいただき、大変中身の濃い有意義な内容となりましたことを、紙面をお借りして厚く御礼申しあげます。

### 「KYOのあけぼの会・韓国研修」雑感あれこれ

青木 妙子

- その1 当然の事ながら、ハングル文字のラッシュには閉口。何一つ文字からは想像出来ず、交流会の座席指定で自分のネームプレートすら読めず惨めでした。
- その2 韓国では、1995年北京での世界女性会議を契機として女性政策が政治の表舞台にあげられ、金大中大統領の公約の現れとして、「女性企業支援法」が制定され、一気に加速し進展した様子がよく解った。
- その3 韓国女性の「起業意欲」の源が、単に、とうがらしやニンニクのパワーだけでなく、根強い「戸主制」「儒教精神」に対する、韓国女性の自己主張の現れであることを、垣間見た気がした。
- その4 韓国のイメージを変えた「食文化」。  
とうがらしは、辛いだけでなく、甘さ・香り・色をたのしみ、ニンニクも日本の物のように強いにおいが無く、料理を美味しく戴く大事なスパイスだった。  
石焼きビビンバ、韓国冷麺、宮中寄せ鍋、王宮料理、満韓定食、勿論焼き肉も、全て食体験。何処のキムチもそれぞれ美味しかった。
- その5 今回の研修は全てビッグなスタッフに恵まれ、和やかな中にも、内容の濃い充実した交流が出来て良かったと思います。皆様に感謝。カムサハムニダ

### 韓国女性の強さをみる

山野上 里子

訪韓交流会で、「韓国女性経済人協会」は、女性総合支援センタービルを設立し、経営支援・企業同志の交流会・国際交流・政府の委託事業など協会のすぐれた機能を女性の社会進出・地位向上に、女性企業家の中心となる活動をしている。

韓国の女性には、女性への支援を求めての甘さはない。何かしなければならぬ、女性(母性)は強く、男女平等でなく、両性平等を目指すことを強調された。

統一展望台に立ち、女性の社会参画活動が進むなか、「生命を守る、世界の平和」の願いは究極の課題とし共存するものであることを感じた。

### 肌で感じた思い

鈴木 初子

思い掛けないチャンスに恵まれ、幼少時に数年過ごした、韓国ソウルの研修旅行に参加させて頂き、戦前の面影がすっかり無くなり素晴らしい発展を遂げているソウル市内をはじめ、その中心を流れている漢江の南西地域に、高層のマンションが林立し、ソウル郊外の新開地として発展し続けている様を見せて頂き、又南大門市場では、活気溢れた商店の人々とじかに接し、今の韓国を肌で感じさせて頂きました。

コリアハウスにおける王宮料理を始め、彼方、此方で頂いた伝統料理、その都度出されたキムチの味は、それぞれのお店によって、微妙に異なるお味で、一言キムチと言っても、その味の深さに、その店の伝統を感じました。あれも、これも研修させて頂いた思い出はいっぱいありますが、ほんの一つ、感じたことを書かせて頂きました。ありがとうございました。



コリアハウスにて王宮料理を楽しみました





コリアハウスにて韓国伝統舞踊を鑑賞記念に

### 女性起業家達のパワーに感動

杉本 ナツ

メインでもあった、韓国の女性起業家10名との懇談会の中で、今迄の女性下積み社会をはねのけ、他力を頼らず自分達の手で道を切り開いて行く意欲と行動あるパワーに感動。

北朝鮮との境にある、統一展望台から遙か向こうに北朝鮮を見ることが出来、あそこに拉致された人々がおられるかと思うと、胸のつまる思いがしました。

食事は必ずキムチが出るものの、辛さもしつこくなく、さすが本場と舌鼓。

ガイドさんの行届いた説明に歴史や文化など、僅かながらも韓国の姿を肌で感じる事が出来意義ある研修でした。

キムチ園 心ほてりの鍋料理



コリアハウスにて夕食 王宮料理にて乾杯

### 彼地の女性起業家の活力源は？ 武田 公子

この度の韓国研修旅行に際し、韓国女性経済人協会の皆様と親しく話し合う機会に恵まれました。

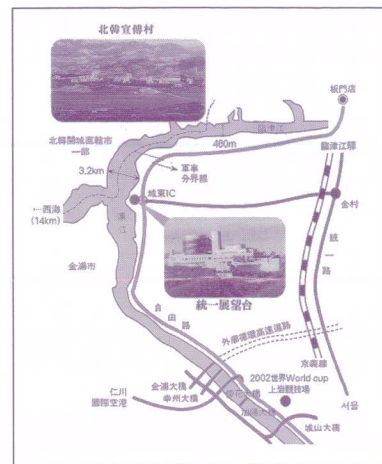
堂々と生き生きと自国の発展に寄与している事を誇りとしているのが伝わって参りました。

愛国心と高麗人参エキスとの絶妙な組合せが心に残りました。

### 五行歌で思いを書きました

大橋 嬉子

この望遠鏡の向こうに  
閉ざされし  
分断された人々が  
みえる  
韓国、統一展望台



### あじわった満足感

岡本 薫

厳しいといわれている寒さ対策や、雑多な先入観(北朝鮮への思いや食文化など)で不安な韓国研修への出発だったが、仁川空港に降り立ち韓国に入国したとき、まず郷愁にも似た不思議な気持ちを味わった。

雨の降る車窓から見る都という意味の街ソウルは、噂どおりビル、マンション、車の洪水。

ガイド金恵慶<sup>キムヘギョン</sup>さんの案内では、韓国全人口の四分の一約4700万人がソウルに居住しているとか。想像をはるかに超えた驚くべきソウルの街だった。

出会った女性には、「どうして!!」と叫びそうなほどの明るさやパワーがみなぎっており、驚愕と羨望が入り混じったショック。彼女たち曰く、仕事、ファッション、エステ、食べ物はもちろん、話すことや笑うこと、どれもエネルギー源であり、いつでもどこでもプラス指向だとか。

特に食文化では、習慣作法など違いはあるが、韓国料理は肉中心ではなく、豊富な野菜中心だったことを知った。とうがらし、にんにく、キムチなども本当においしくいただけた。

今までなんとなく難しいと敬遠していたハングル語は、実は私達日本語と同一系統の言葉といわれ、語順や助詞の使い方もよく似ているようだ。

統一展望台から北朝鮮を眺め、日常生活用品、学校教科書などの展示を見ながら、現地の生活環境を聞くにつけ、拉致された人達や苦しい生活を余儀なく強いられている人々のことが頭に浮かび、胸が痛んだ。

出発時の不安も吹っ飛び、とにもかくにも百聞は一見にしかずの言葉そのままの韓国研修だった。



戦争記念館

ソウル観光はソウルタワーから始まります。

地球村民俗博物館 世界150ヶ国以上の民族衣装の展示 (地下1階)

立休館 世界最大の次元コンピューターグラフィックによる立休館 (地下1階)

展望台 360°パノラマ 美しいソウルの一望ができます。

常設展示館 ソウルの昨日と今日-100年 写真展 世界の有名なタワー-写真展 鳥山(ゆる)見ると鳥、木々、野生の鳥の繁殖 (1階)

幻想の国 世界最大の伝統的伝統的記念品の展示 (展示台、広場、地下1階) (地下1階)

360度回転する展望台 360度パノラマ 世界最大の伝統的伝統的記念品の展示 (展示台、広場、地下1階) (地下1階)

プルギョン 韓国伝統的記念品の展示 (展示台、広場、地下1階) (地下1階)

展望台 スカイランドレストラン 韓国伝統的記念品の展示 (展示台、広場、地下1階) (地下1階)



## 環境Song「生命の泉」紹介

第3回世界水フォーラムの大会が京都で開催され、その時にうたわれました

作詞・作曲 一瀬裕子

「生命の泉」

生命の泉

1 井でま 1.33 すみなわの よおろく

深山の奥の閑けさよ 命の渦の漑どまる

光る雫の音がする 揺るる心の音がする

こゝ過ぎ里へ水曲越え 水面の光り満らあふれ

湧き出づ水沫の音がする 抱けよ大きく音がする

雲よ、風よ、水よ 友よ、君よ、我よ

清・清・清わ 清・清・清わ

生命の泉の音がする 生命の泉の音がする

私は上桂川上流の溪流沿いに住いし、自然そのものの中で過ごしております。この詩は周辺から津々と溢れでる思いを、日々水の音と共に生あるものの愛しさを、しみじみとかみしめることの喜びの気持から詠みました。

“生命の源である水”絶えることなき流れの清き美しさ、その思いを皆さまと歌唱できますことをよろこんでおります。(一瀬 談)

### 編集後記

会員の皆さまお変わりございませんか。

皆さまにご協力いただきましたアンケートの集計をもとに、今年度は韓国研修の機会をもつことができました。ここに訪韓研修の報告と参加者の感想をお届けいたします。これを契機によりよい会の発展をせつに願ってやみません。

また国際交流実感では一瀬会員、武田会員お二人に

原稿を寄せていただきましたし、世界水フォーラムでは一瀬会員の「生命の泉」が歌唱紹介されました。皆さまの輝かしいご活躍を本当に頼もしく嬉しく思います。

皆さまのますますのご健康をお祈りし、ご活躍をご期待申し上げますと共に、今後ともご支援ご協力をよろしく願いたします。

発行責任者 海外研修KYOのあけぼの会  
役員一同